



20250515

子離れ・親離れ・・・

「子離れの必要性」を考えてみませんか？

1学期が始まり1ヶ月がたちました。今年度入学した小1、中1、高1の児童生徒達も少しずつ学校や新しいリズムにも慣れてきた時期となってきました。その間、保護者の皆様や地域の方々に多くの御協力、御支援をいただきありがとうございました。改めてお礼申し上げます。

さて、今回は少し耳が痛い内容になるかもしれませんが、将来に向けてとても大切と考えていることについてふれさせていただきます。

本校に通っている児童生徒の多くは、いずれは親元を離れて生活をする日が来ると思います。それは「好む」「好まない」にかかわらず訪れます。その時にお子さんが辛い思いをしながら親と離れるのか、それとも将来への希望を持って離れるのかを考えたことがあるでしょうか？「今の生活のことで精一杯で、そんな先のことは考えられない！」と思われる方もいるでしょうが、少し考えてみませんか？

子どもと密接に過ごす期間が長ければ長いほど、お互いに環境の変化に適應することが難しくなります。そうならないために、「自立心」を徐々に子どもにもってもらうことが必要です。つまり、「子離れ」が必要だと思うのです。言うは易く行うは難しで、「この子なしの生活は考えられない！」「この子の世話をすることが私の人生！」と思われる方もいるかもしれません。しかし、お子さん達は間違いなく日々成長しています。生活面では色々なお世話や支援が必要かもしれませんが、今はデイサービス、ショートステイなどを利用したり、ヘルパーさんと外出したりするなど自宅以外で過ごす機会も増えてきています。これは、いつまでも親と一緒に生活を過ごすだけでなく、社会の様々な人と関わりを持つ中で「自立心」を持つきっかけになると考えています。子どもに自立心を持たせようと、意図的にこのようなサービスを利用することはとても素晴らしいことだと考えています。親が少し勇気を持って「子どもは成長している」「自立という成長の時が来ているんだ」と考え、お子さんとの距離を少しずつ離してみませんか？単純に子どもに近づくことを減らすということではありません。何でもかんでも子どもの考えや行動に対して先回りして手伝ったり世話をしたりするのではなく、子どもから発してきた要求を尊重し、自分で考えたり行動できることは本人に任せる。子どもが要求してきたことで、本当に親がしなければならないことを手伝うことにする。家庭生活の全てを一緒に過ごすのではなく、一人の時間も保障する。そのようなことも私は必要で大切なことだと考えています。

実は、5月13日（火）PTAグラウンド整備中にある保護者の話が少し聞こえてきました。全て正確に聴けたわけではないのですが、泊学習に向けて取り組んでいること、取り組みたいことみたいな話で、まず、一緒にテレビ見たりするとき、少しでも一人で座って見る時間をつくる。→お母さんと一緒に布団に寝ることから一人の布団で寝る。→自分の部屋で寝る。→おじいちゃんおばあちゃん宅に預ける。→おじいちゃんおばあちゃん宅でお泊まりする。→ショートステイを利用する。このようにスモールステップを踏みながら褒めて進めていくと泊学習もスムーズになるのでは？と話していました。この話を聞き、数年前に書いた「子離れの必要性」を再度掲載しました。（星置では初）子どもの実態はそれぞれ違いますが、まずはちょっと考えるところからはじめていくのも良いかもしれませんよ。ご意見お待ちしております！！